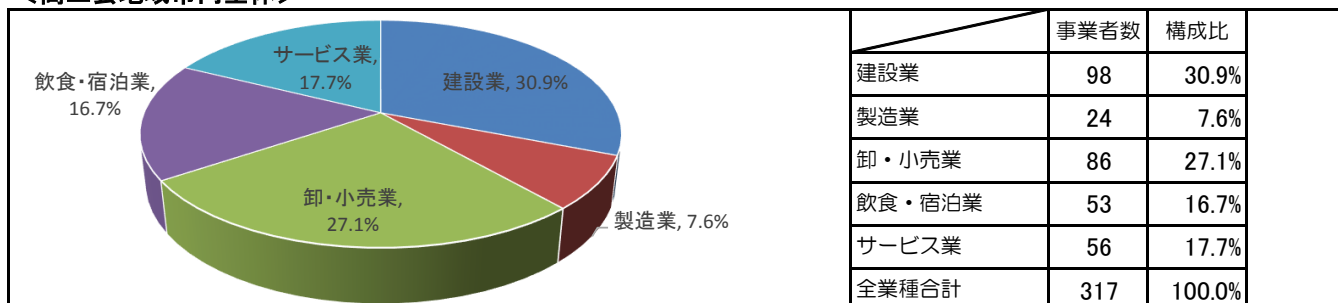


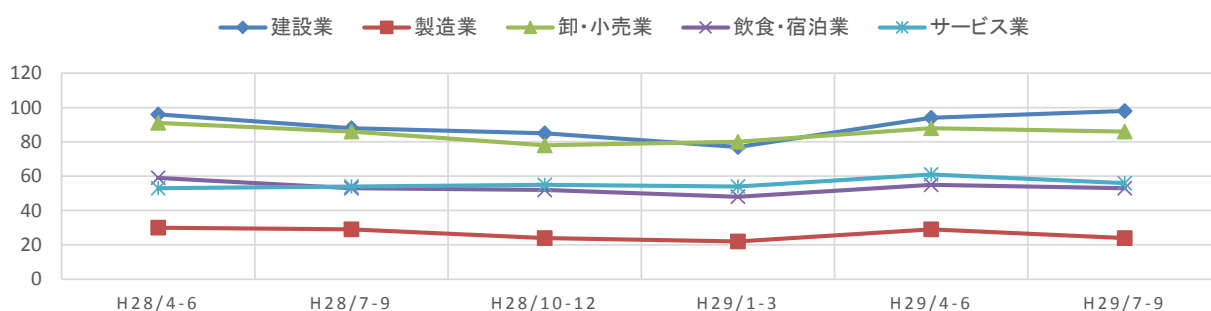
小規模事業者以外含む全事業所

◇ 調査対象事業所構成割合

<商工会地域市内全体>



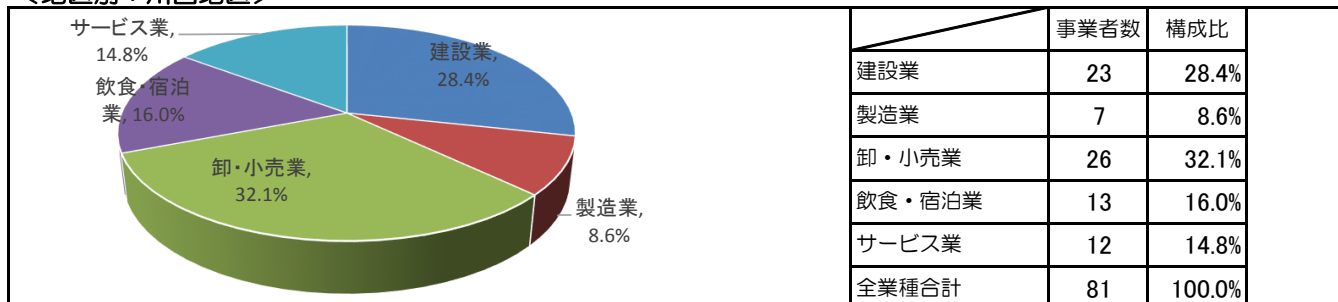
業種別調査事業所数の推移(市内全体)



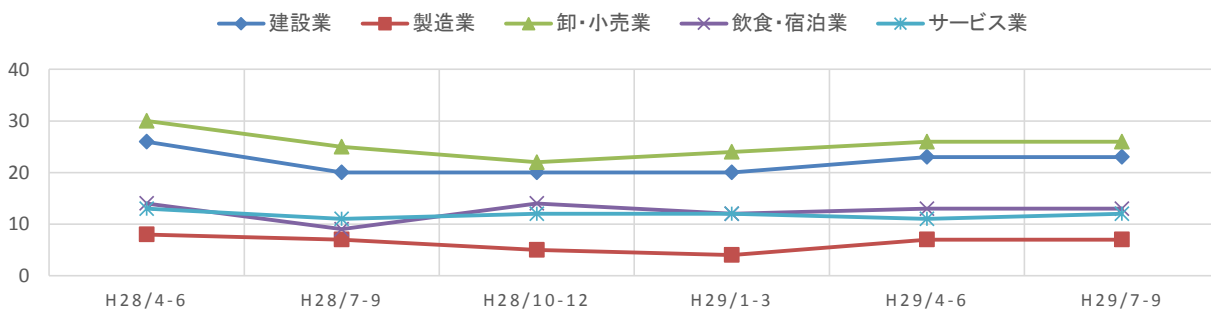
<コメント>

市内商工会地域全体の商工業者1056社の約30%からの回答を基に集計した結果である。製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな偏りのない調査結果である。

<地区別：川西地区>



業種別調査事業所数の推移(地区)



<コメント>

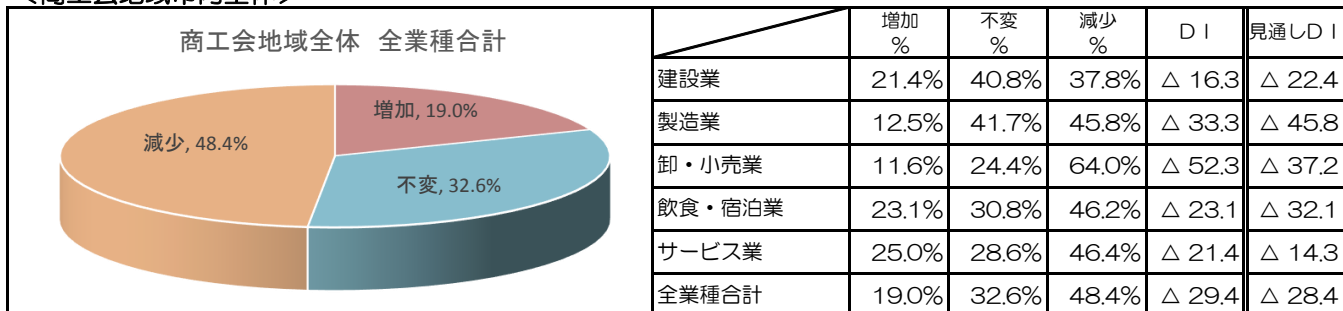
川西地域の業種割合は商工業者100社を対象に調査依頼をし、81社(回収率81%)からの回答を基に集計した結果である。これまで同様、製造業の割合が少ないものの、その他の業種に大きな隔たりのない調査結果である。

D I 値（景況判断指数）＝（増加・好転などの回答割合）－（減少・悪化などの回答割合）

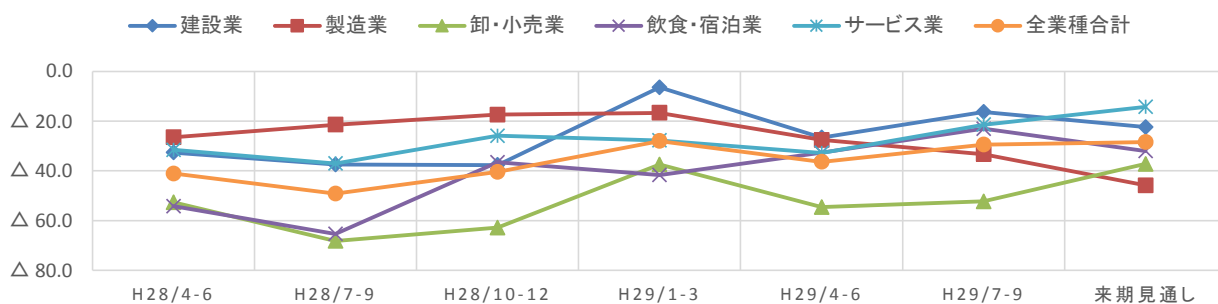
1. 売上について

・7月～9月の売上は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



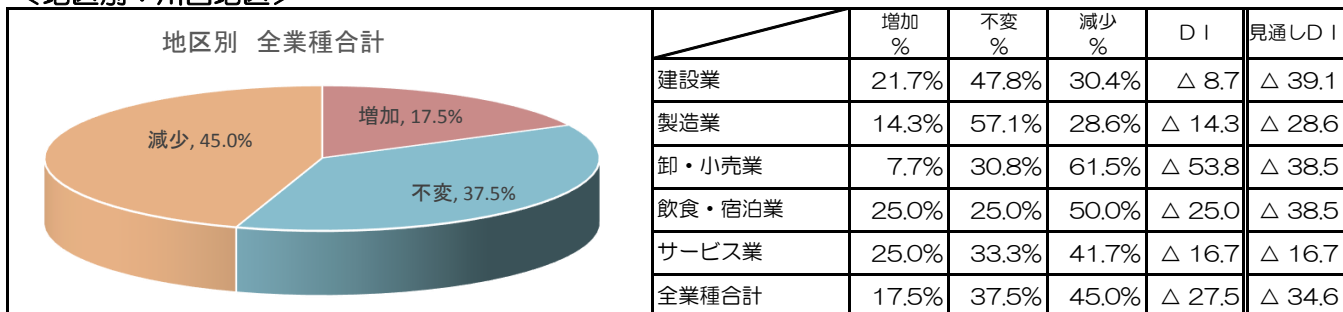
業種別売上の推移（市内全体）



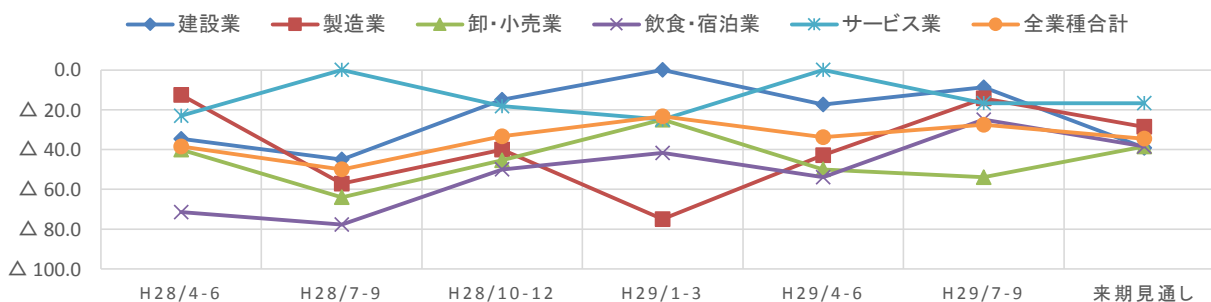
<コメント>

売上は、前年同期と比較して全業種で△29.4ポイント減少となった。依然として卸・小売業の減少が目立つとともに、製造業が悪化傾向である。来期見通しは、全業種で若干改善を予想。卸・小売業とサービス業は、歳末商戦を加味し改善を予想しているが、製造業では依然として悪化予想をしている。

<地区別：川西地区>



業種別売上の推移（地区別）



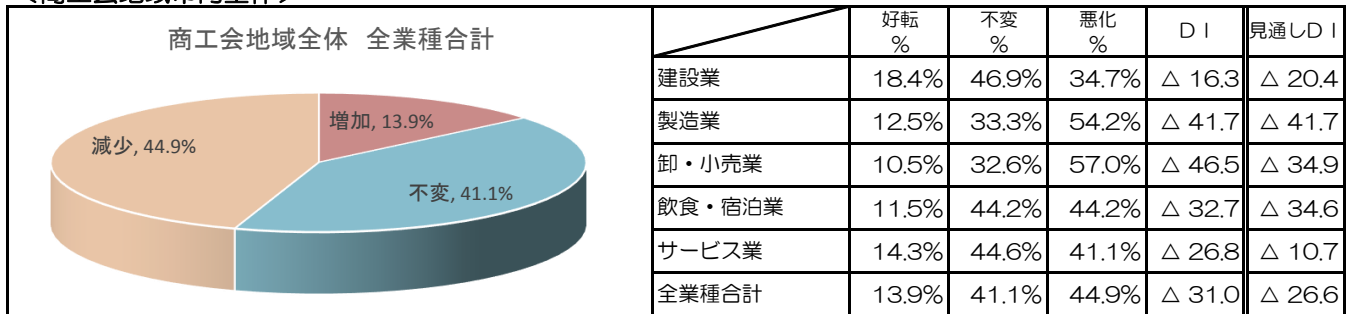
<コメント>

川西地域の売上は業種全体で前年同期と比較して△27.5ポイントの減少となっている。特に卸・小売業の減少が大きくなっている。来期見通しでは△7.1ポイントの減少であり、ほとんどの業種が冬期の売上減少を予測している。

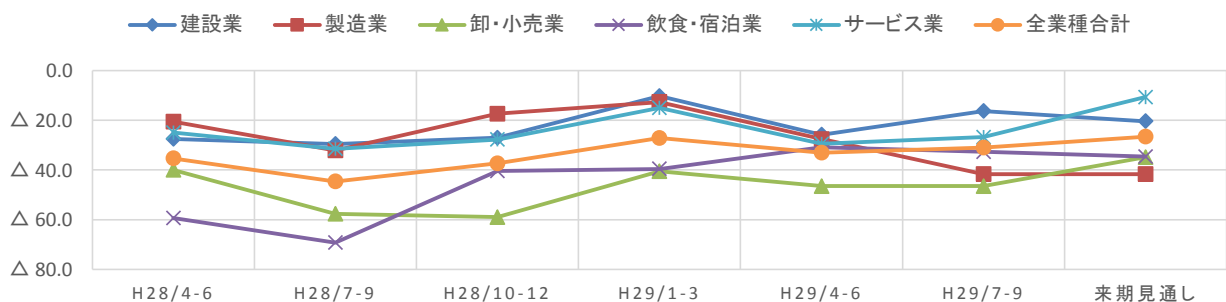
2. 採算について

- ・7月～9月の採算は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



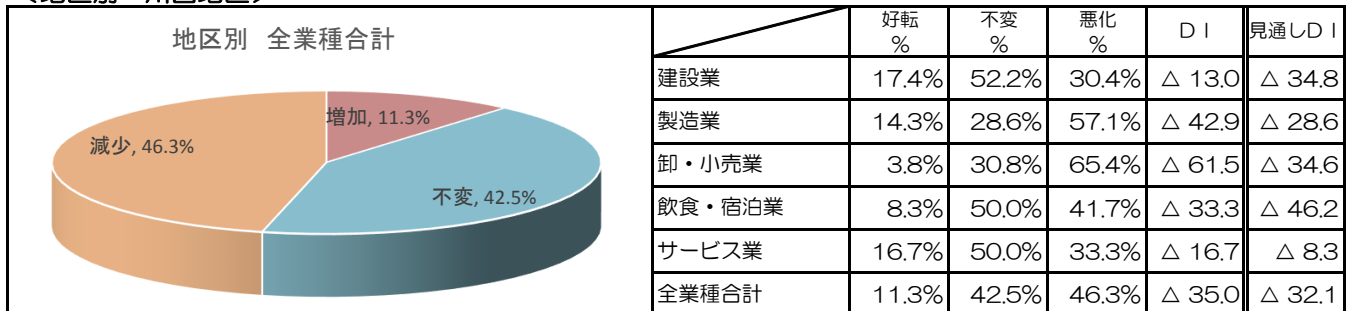
業種別採算の推移(市内全体)



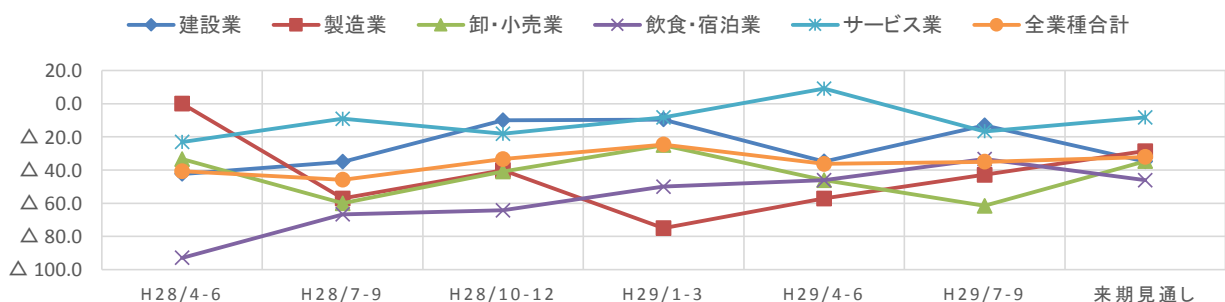
<コメント>

採算は、前年同期と比較して、全業種で△31ポイント悪化。依然として卸・小売業の悪化が目立つとともに、製造業の悪化も目立つ。来期見通しは、全業種で4.4ポイント改善を予想している。

<地区別：川西地区>



業種別採算の推移(地区別)



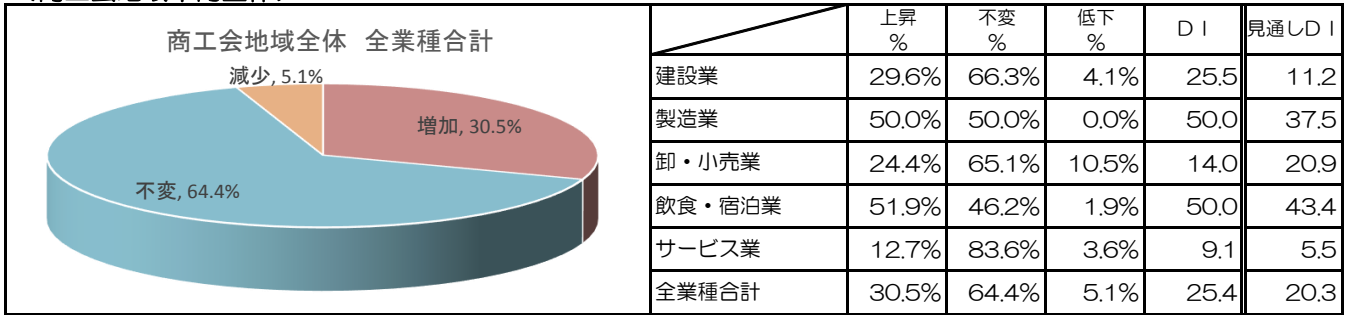
<コメント>

川西地域の採算性は前年同期と比較して△35.0ポイントの悪化を示しており、特に卸・小売業の減少が顕著である。来期見通しは全業種で2.9%の改善となっているが、建設業・飲食業では採算の更なる減少を予見している。

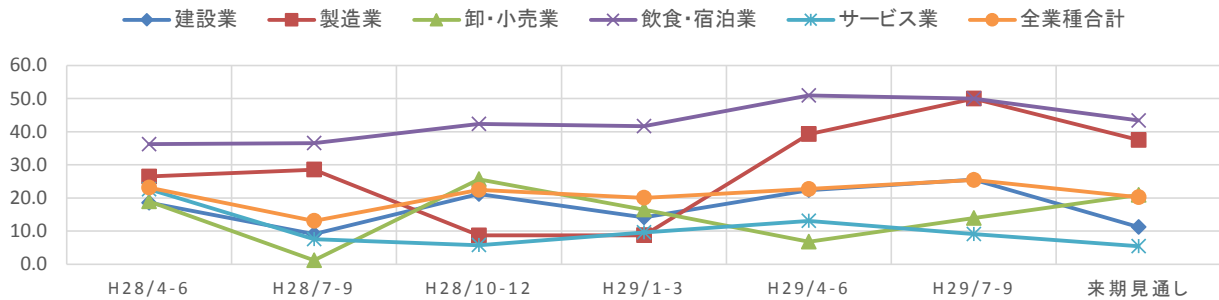
3. 仕入単価について

- ・7月～9月の仕入単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



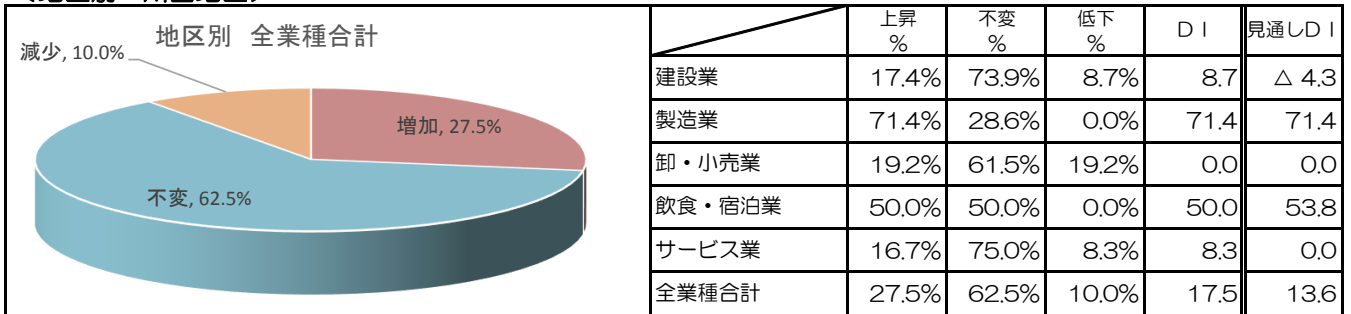
業種別仕入単価の推移(市内全体)



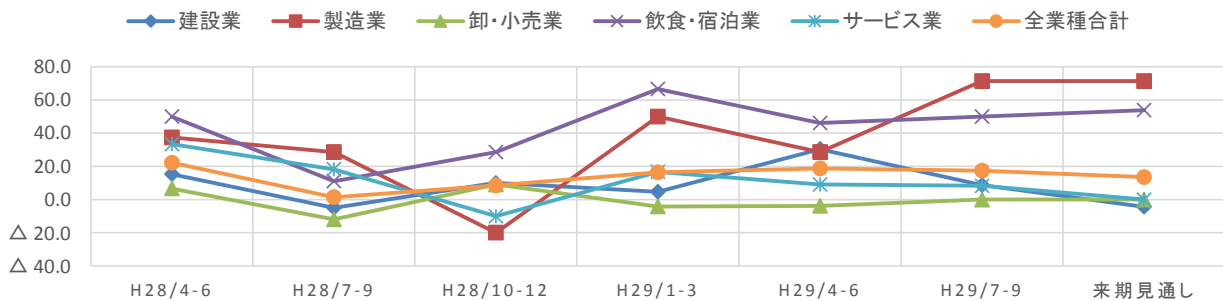
<コメント>

仕入単価は、前年同期と比較して、全業種で25.4ポイント上昇。特に、飲食・宿泊業及び製造業の上昇が目立ち、売上原価を押し上げている。来期見通しでも、若干落ち着いていくように思われるが、この傾向は変わらないと予想している。

<地区別：川西地区>



業種別仕入単価の推移(地区別)



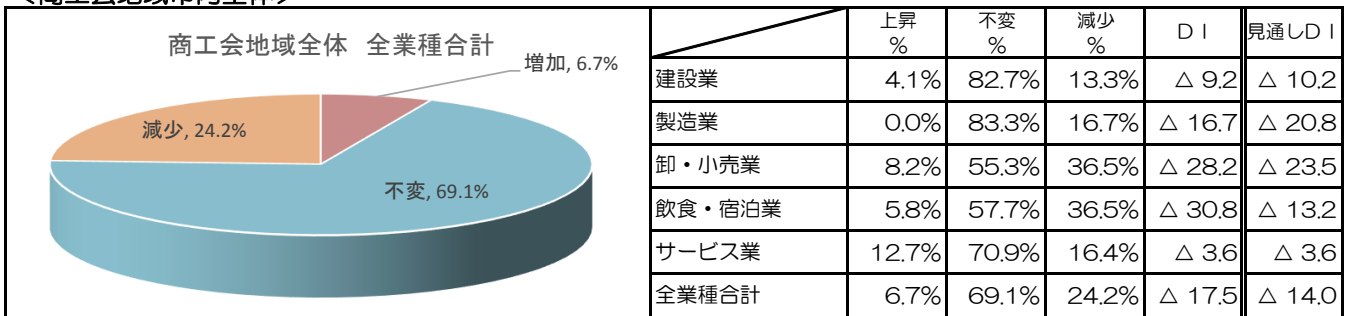
<コメント>

川西地域の仕入単価は前年同期と比較して、17.5ポイント上昇している。特に製造業は71.4ポイント、飲食・宿泊業は50.0ポイントの上昇となっている。来期見通しでは全業種で3.9ポイントの減少が見込まれる。

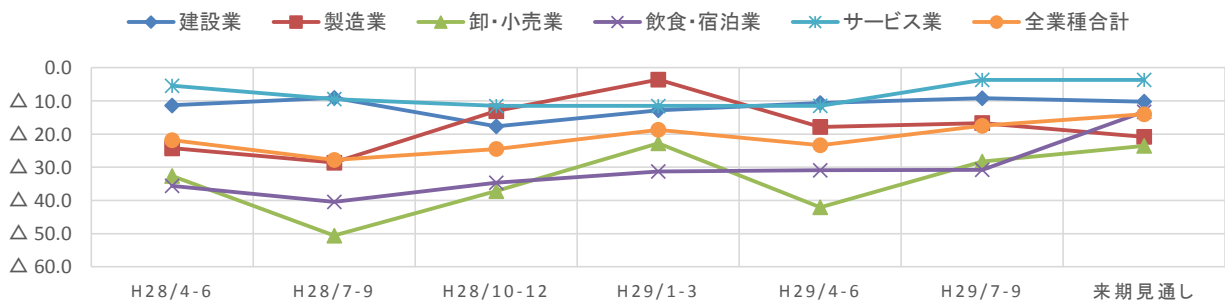
4. 販売（客）単価について

- ・7月～9月の販売（客）単価は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



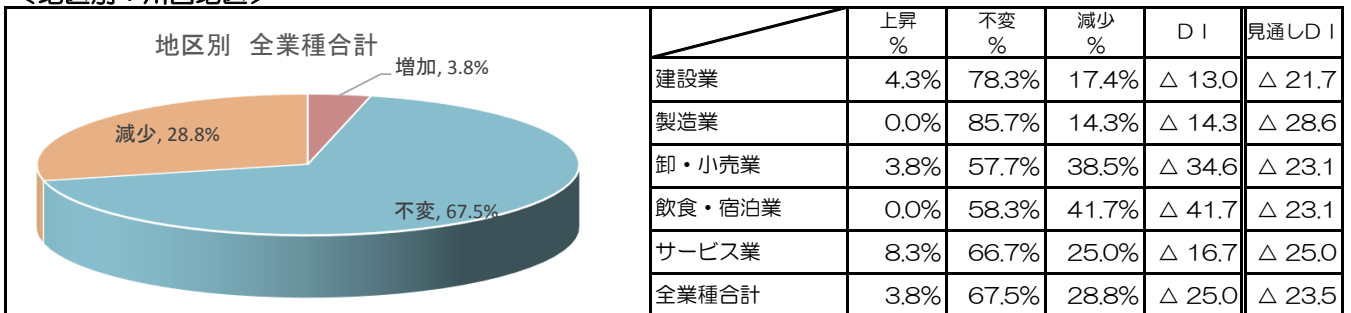
業種別販売（客）単価の推移（市内全体）



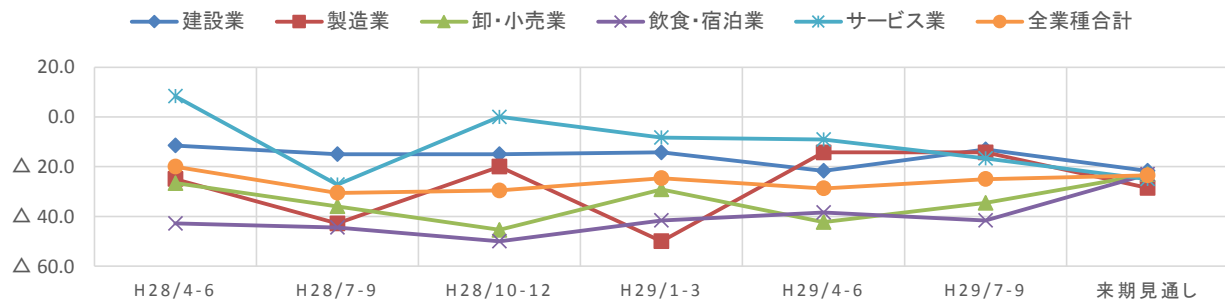
<コメント>

販売単価は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△17.5ポイント低下。来期見通しでも、全業種では低下予想をしているものの、飲食・宿泊業では、忘年会シーズンを期待して上昇予想をしている。

<地区別：川西地区>



業種別販売（客）単価の推移（地区別）



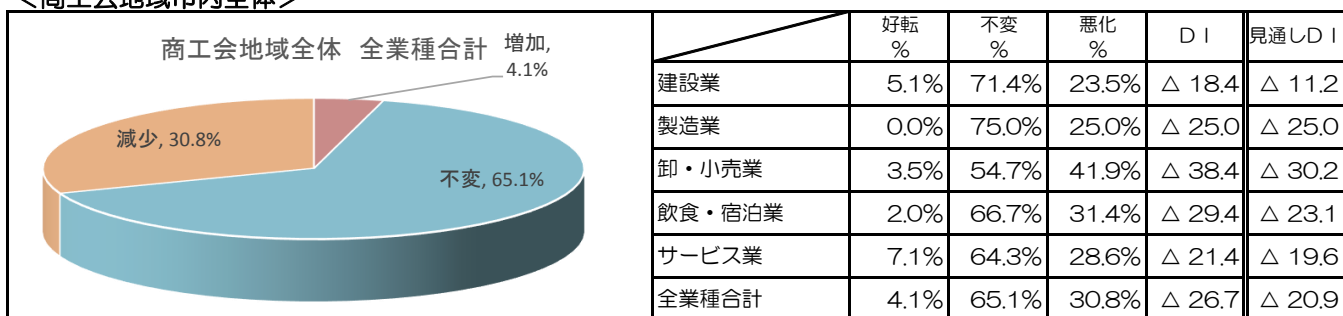
<コメント>

川西地域の販売単価は全業種において不変との回答が67.5%を占めているが、全体的には△25.0ポイントの減少となっている。来期の見通しでは、全業種において△21ポイントから△28ポイントと差はあるものの減少を示している。

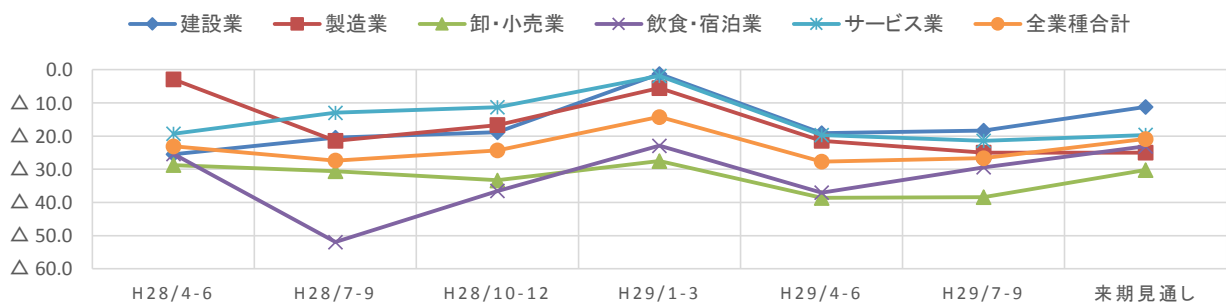
5. 資金繰りについて

- ・7月～9月の資金繰りは前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



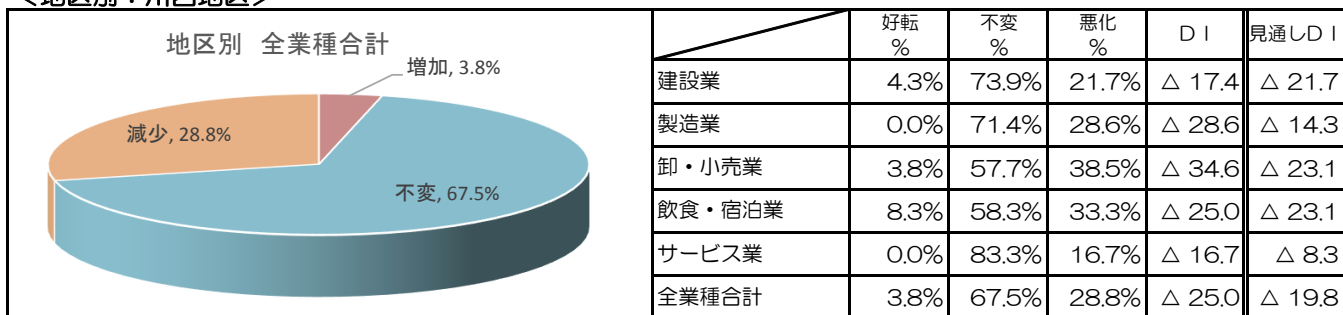
業種別資金繰りの推移(市内全体)



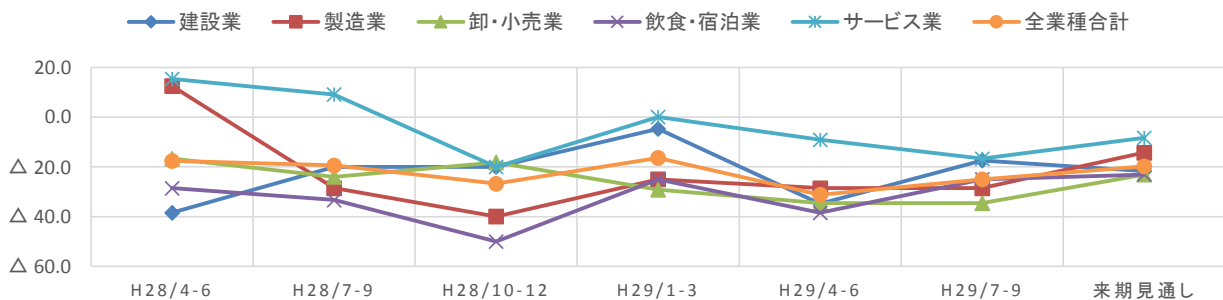
<コメント>

資金繰りは前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△26.7ポイント悪化。依然として、卸・小売業及び飲食・宿泊業の悪化が目立つ。来期見通しでも若干の改善傾向を予想しているものの厳しい状況は変わらない。

<地区別：川西地区>



業種別資金繰りの推移(地区別)



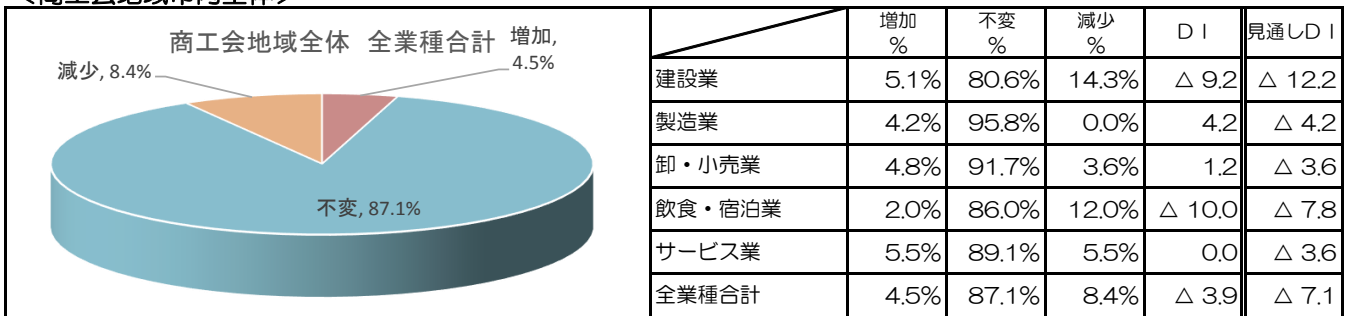
<コメント>

川西地域の資金繰りは△25.0ポイントの悪化となっている。来期見通しについては建設業以外の業種で比較的好転を示しており、全業種合計としては5.2ポイント改善となっている。

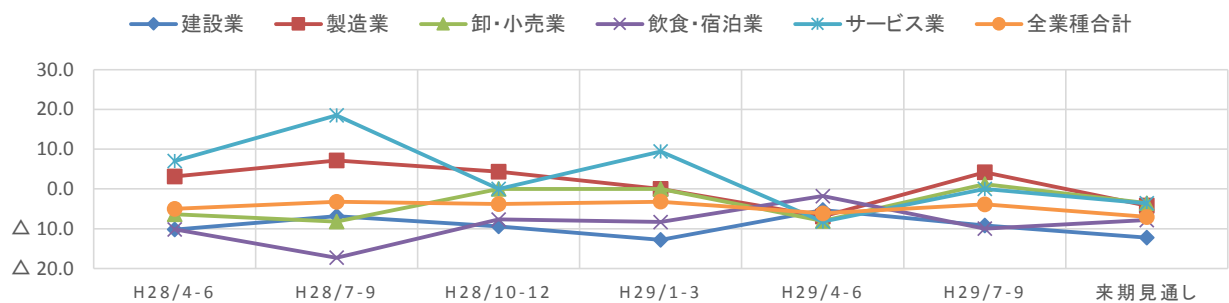
6. 従業員数について

- ・7月～9月の従業員数は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



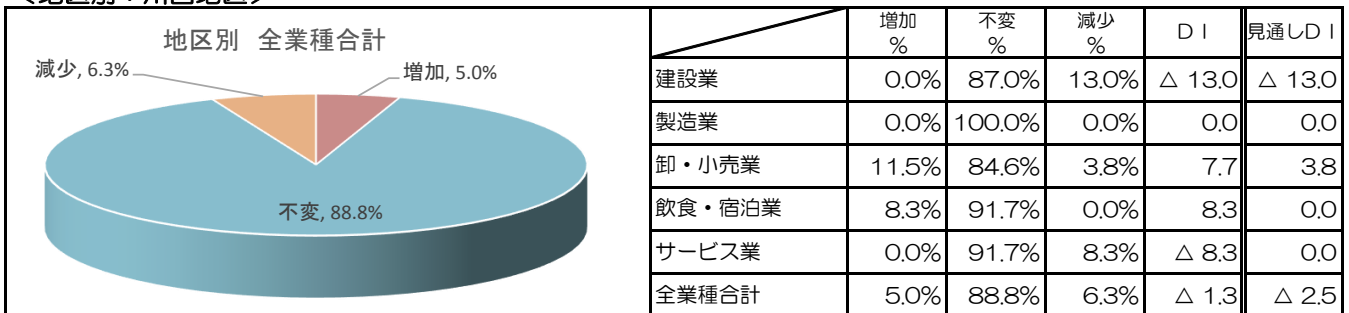
業種別従業員数の推移(市内全体)



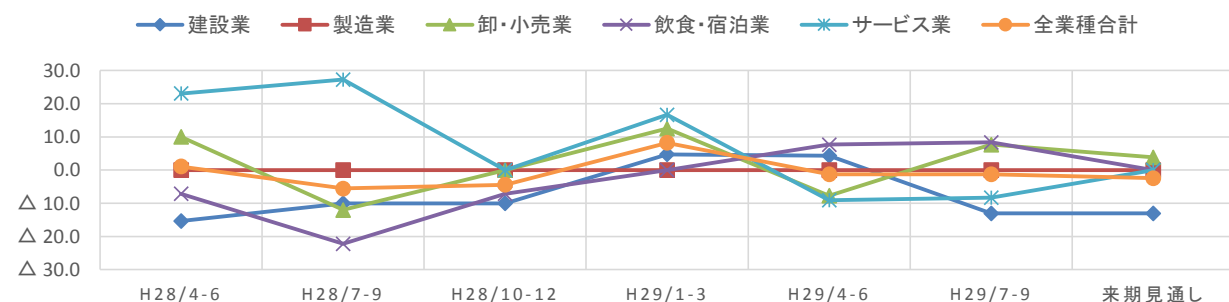
<コメント>

従業員数は、前年同期と比較して、全業種で不変基調であるが、△3.9ポイント減少。来期見通しでは、同じような傾向であるが、全業種で減少予想である。

<地区別：川西地区>



業種別従業員数の推移(地区別)



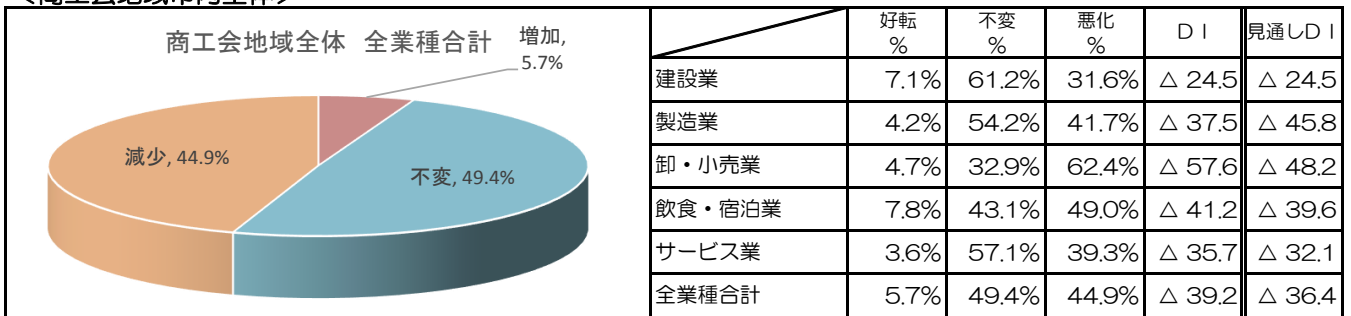
<コメント>

世間的に人手不足と言われる中、川西地域では全業種で△1.3ポイントの減少となっているが、卸・小売業及び飲食・宿泊業では上昇傾向にある。来期見通しとしては建設業の従業員減少が続く予想である。

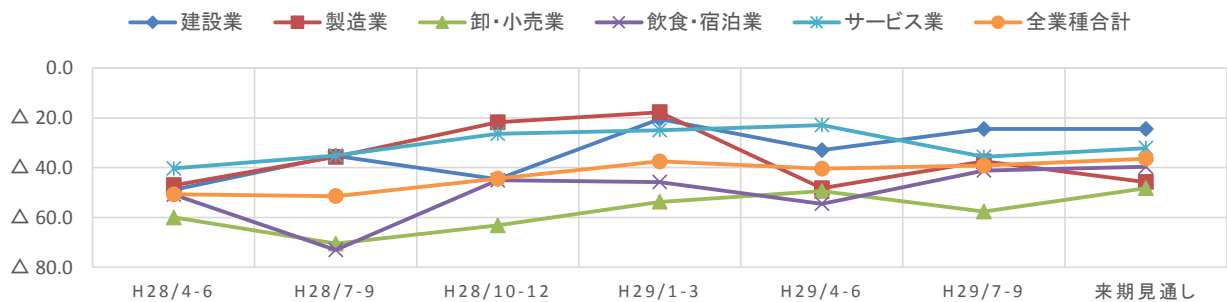
7. 景況判断について

- ・7月～9月の景況は前年の同期に比べてどうですか？

<商工会地域市内全体>



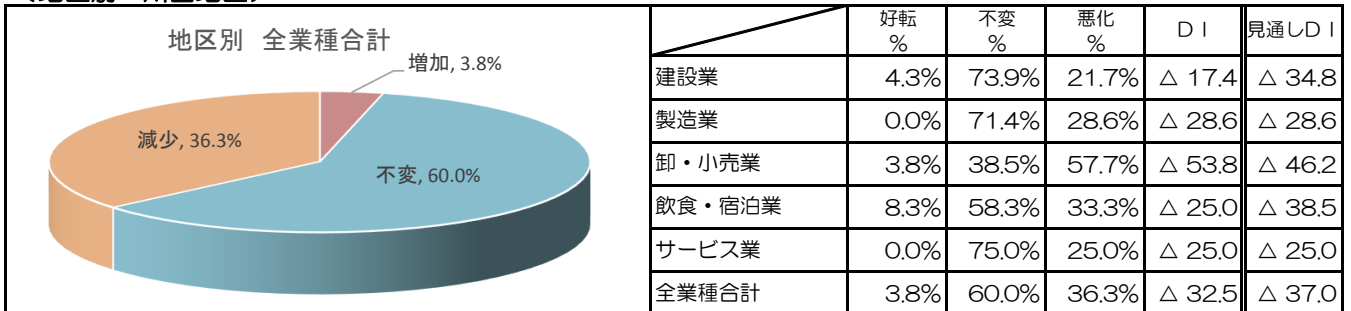
業種別景況判断の推移(市内全体)



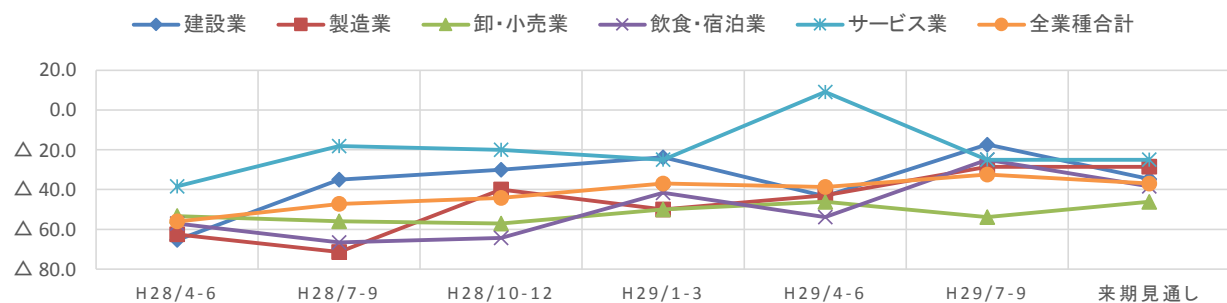
<コメント>

景況は、前年同期と比較して、全業種で△39.2ポイント悪化。特に卸・小売業は半数以上が悪化と回答している。来期見通しは全業種で2.8ポイント改善予想であるが製造業では△8.3ポイント悪化を予想している。

<地区別：川西地区>



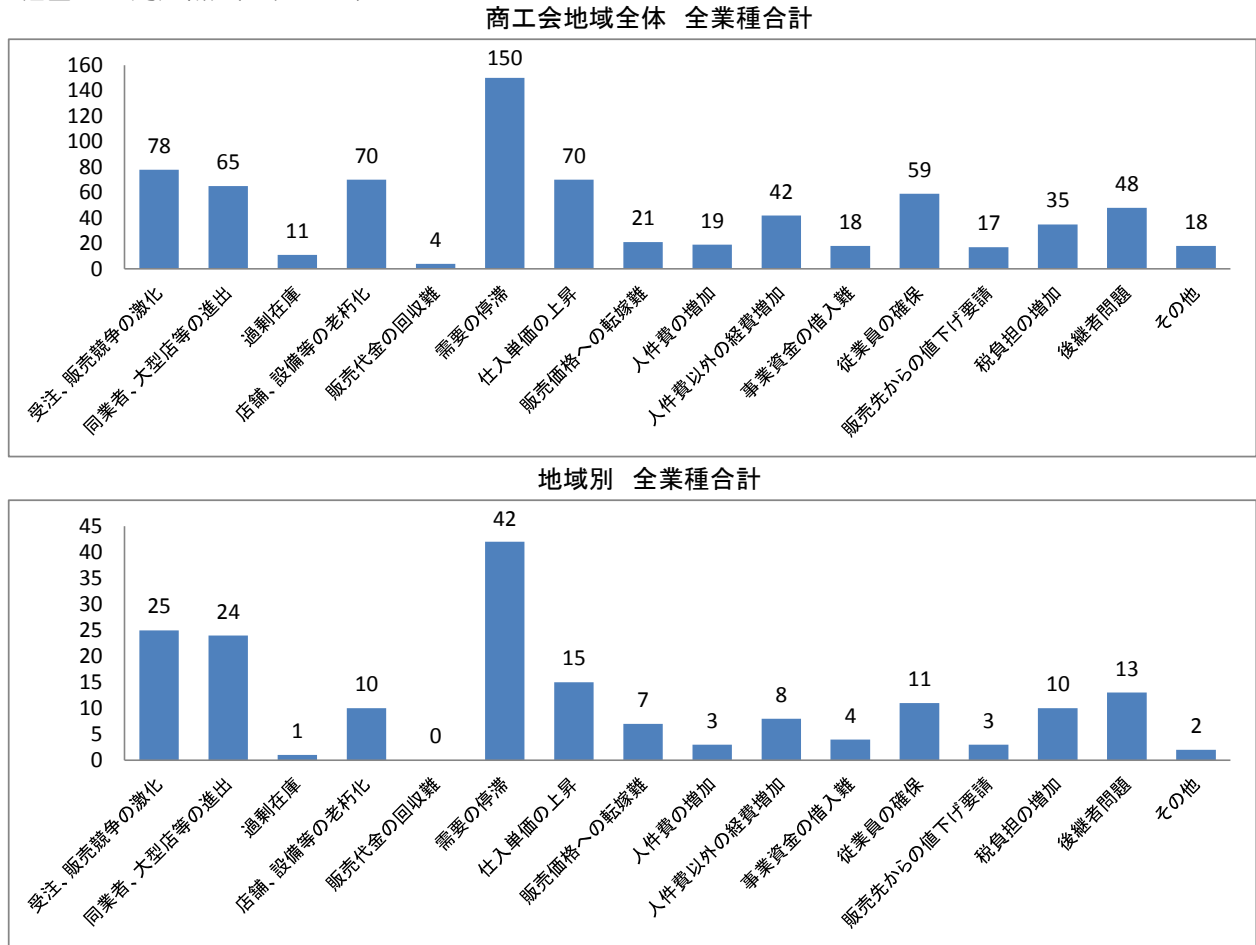
業種別景況判断の推移(地区別)



<コメント>

川西地域の景況判断としては全業種で△32.5ポイントの悪化を示しており、卸・小売業における景況観の悪化が顕著である。来期見通しは全業種で△4.5ポイントの悪化が見込まれている。

8. 経営上の問題点（上位3つ）



<コメント>

経営上の問題点、1位「需要の停滞」2位「受注、販売競争の激化」3位「店舗、設備等の老朽化」「仕入単価の上昇」となり、前回調査と同じ結果となった。

9. 地域全体の景況概要

・7月～9月時点での全体概況は

<p>【建設業】 建設業においては全業種の中で「売上」「採算」のポイントの減少幅が少なかった。また、「従業員数」の減少が全業種の中で最も大きくなっているほか、「仕入単価」「販売単価」以外の項目に置いて、冬季の見通しDIのマイナスが顕著である。 経営上の課題として、1位「需要の停滞」2位「税負担の増加」3位「従業員の確保」、「受注販売競争の激化」、「同業者等の進出」となっている。前回4位であった「従業員の確保」の順位が前回よりも上昇しており、従業員の確保に向けた取り組みが今後の課題である。</p>
<p>【製造業】 製造業においては前年と「従業員数」が不変となっている。また、「仕入単価」の上昇傾向から「採算」が悪化している事業所が多い。 経営上の課題として、1位「需要の停滞」2位「店舗、設備の老朽化」3位「受注販売競争の激化」「仕入単価の上昇」「販売価格への転嫁難」となっている。「店舗設備の老朽化」が前回より上昇傾向にあり、設備投資を検討している製造業者においては中・長期的な経営計画の策定が課題である。</p>
<p>【卸・小売業】 卸・小売業においては「売上」「採算」「資金繰り」「景況判断」において大幅な悪化傾向である。また、全業種の中で唯一「仕入単価」が不変であり、「従業員数」が上昇している。 経営上の課題として、1位「同業者・大型店の進出」「需要の停滞」2位「受注・販売競争の激化」3位「後継者問題」となっている。依然、同業者や大型店等への顧客流出を危惧する声が多い中、「後継者問題」を課題と捉える事業所が増加している。</p>
<p>【飲食・宿泊業】 飲食・宿泊業においては全体的に悪化の傾向が大きくなっており、来期の見通しについて、転換の見込みは薄いとの回答が多かった。そんな中、前年より従業員の増加がある事業所が多かった。 経営上の課題としては、1位「需要の停滞」「仕入単価の上昇」2位「店舗設備の老朽化」「人件費以外の経費増加」3位「従業員の確保」となっている。前回よりも「人件費以外の経費増加」を課題とする事業所が増えており、仕入単価の上昇が目立ってきている。</p>
<p>【サービス業】 サービス業においては全体的に悪化の傾向を示しているが、来期での緩やかな改善を予想する事業所も多かった。また、「従業員数」については建設業に次いで減少が大きかった。 経営上の課題としては、1位「需要の停滞」、2位「従業員の確保」「税負担の増加」「後継者問題」3位「店舗設備の老朽化」「仕入単価の上昇」「人件費以外の経費増加」となっている。サービス業においても後継者問題を課題とする事業所が増加傾向にある。</p>